

激辛香辛料

夫への秘密を抱えた人妻は

夫以外の男と...

関係を重ねていく...!!


フルカラー人妻寝取られCG集

基本枚数 **14枚** 本編 **60ページ**

あなたは妻を愛していますか？

奪妻 ウバウバレゾマ

18
DYNAMITE



〇〇駅の〇〇口からは、
一日の仕事を終えた人々が
ぞろぞろと溢れ出てきていた

そんな駅前——
明らかに『不自然』な
女性の姿が見えた

え？おい…なんだよあれ？
うわあキツツ…流石にヤバイだろ

ヤダ…恥ずかしくないのかな…
私あんな格好絶対に無理だわ…

すげえ！痴女じゃん痴女！
うひひ写真取っちゃおうかなあ！



軽薄そらな男がスマートフォンのカメラを向けると
明らかに『不自然』な姿の女性はギロリと絶対零度の視線で睨みつけた



ひいッ！す、すいません！
(こ、こわあ…痴女こわあ…)

軽薄そらな男が逃げていくと
派手な衣装の女は深い溜息を漏らした

あの男…いつたい何時になったら来るのよ！
待ち合わせしていた時間を一時間も過ぎて
いるじゃない！
くツ！ふざけるのもいい加減にしてよね！

ムクッ
ムクッ

ムクッ
ムクッ



女が心の中で
怒りを膨らませていると
がっちりとした肉体の大柄な男が
のそりのそりと歩み近づいてきた


ムク
アッ
♡♡

モク
ビッ
♡♡






おツ！紗理奈(さりな)！
随分早かったじゃねえかよ！
俺が送ったその服似合ってるじゃねえか
ちやんと言われた通りにするなんて
随分素直なことだねえ♡♡


A muscular man with a white tank top and a woman with purple hair in a yellow crop top and blue shorts are talking. The man is on the left, and the woman is on the right. They are both looking at each other. The background is a blurred indoor setting.

私が早いんじゃないじゃなくて
あなたが遅すぎるのよ！
それに好きで着てきたんじゃないわ
あなたが絶対に着てこいって
命令してきたからでしょ！

ああ〜ん？
そうだったかねえ〜？
あんたと違って
学がねえんでよお〜
もう覚えてないんだわあ〜



この…いったいどこまで
ふざけた男なのかしら！
今日で…今夜で絶対に
決着を付けないと…私は…！



さあ〜ていつも通り
俺ん家に行くとするかね
安心しな女を迎えるんだから
ちやんと掃除はしてあるからよ

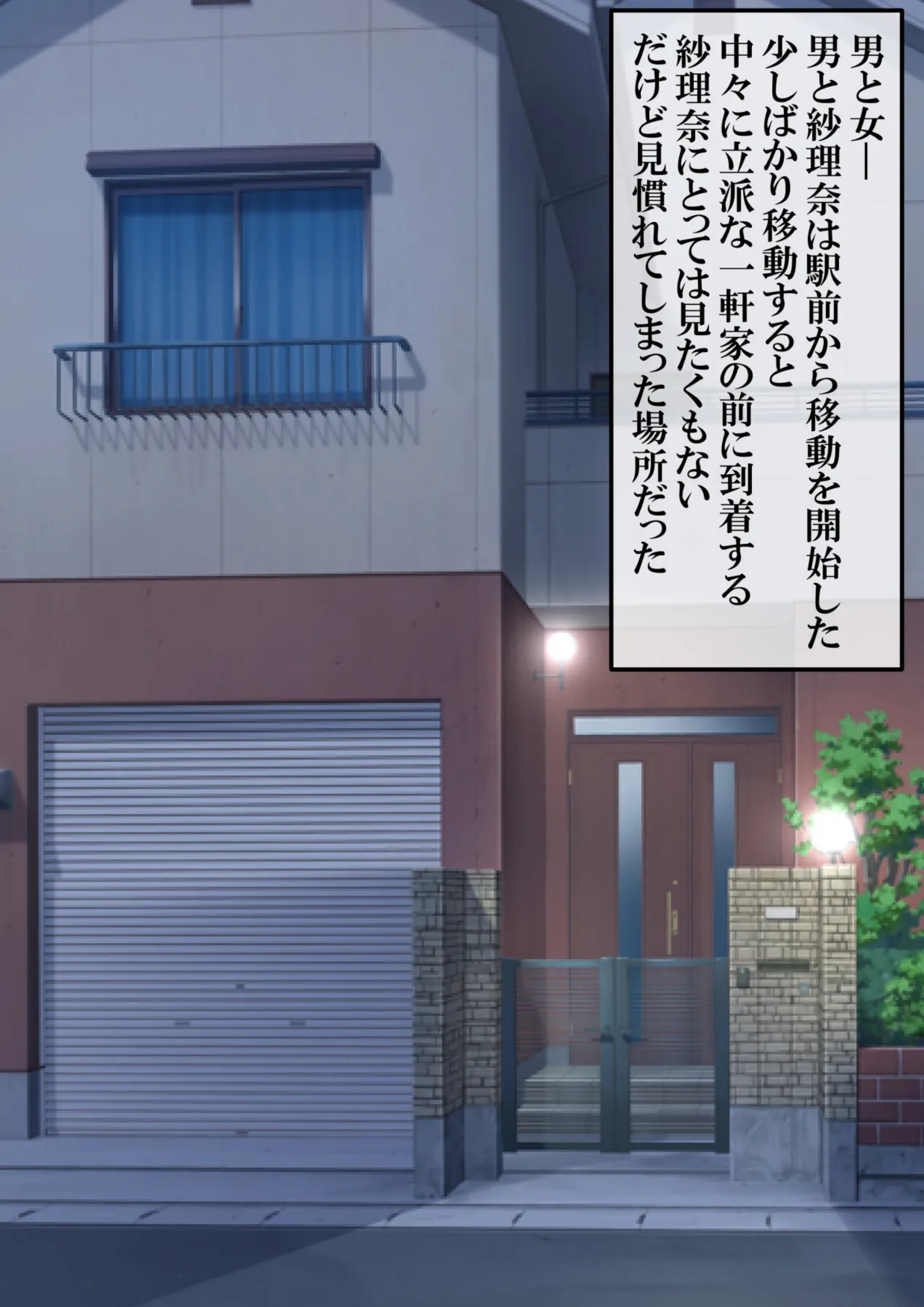
男と女―

男と紗理奈は駅前から移動を開始した
少しばかり移動すると

中々に立派な一軒家の前に到着する

紗理奈にとつては見たくもない

だけども見慣れてしまった場所だった



さあ 入れよ紗理奈

スゴ

…失礼するわ

紗理奈は欠片も嬉しくない
おもてなしを受けて
玄関の敷居をゆつくりと跨いだ

すると…
男は背後から突然紗理奈に
襲いかかった！



おーっ！

うひよおおお！
相変わらずスケベな垂れ乳だなあ！
張りはねえけど揉み心地が最高だぜ！
これだから、四十路の女はやめられねえ！

ちよッ！ やめなさい！
離して！ いきなり…くうッ！
何を考えているの！ このケダモノ！



カッ！

カッ！

おいおい〜
そんなこと言いながら
乳首はぷっくり膨らんで
もう男が欲しいっておねだり
してるじゃねえのよ

ふざけないで!
人の弱みに付け込んで
どの口が言っているのよ!


…ったく
うるせえババアの口は
こうして黙らせねえとな!





んむうううッ！
この男…またこんな強引に
ああ分厚いベロが口内に
潜り込んでくるうう

あの人…夫のとは違う
ねつとりとした唾液に塗れた
ケダモノみたいなベロチューキス
や、やめて…本当にやめてッ！
こんなこと…もう終わらせないと！



おいおい どうしたよ紗理奈
ディープキス一発でメスの顔に
なつてやがるぞ！
どんだけ堕ちるの早いんだよ
このドスケベババアはよお！

何それ
おばさんのツンデレ
クツソウケルわ

そんなことよりよお…
次にやることわかつてるよな？
ほら…俺が好きなヤツだよ

だ、誰が！
そんな顔してないわよ！
勘違いしないで頂戴！



ニヤニヤと口元を歪ませながら
男は紗理奈の肩を抱き寝室へと連れ込んでいった



んんッ…よいしょと…
ここれで…いいのよね？

紗理奈はベッドに横になった男に対して
豊かな乳房を器用に使つて『ハイズリ』奉仕で
風俗嬢の様に快楽を与え始めた



ああ…たまんねえ…
これだよこれ！ 若い女よりもさあ
ババアの垂れ乳。パイズリの方が
何とも言えない気持ち良さがあるんだよなあ

パイズリ何て夫にだってしたことないのに
こんな男に教え込まれて
好きでもない男のチンポに奉仕しないと
いけないなんて…屈辱だわ…だけど…だけど…



おおッ！

紗理奈のパイズリが上手いから
こんななにビンビンに勃起したぜえ！

ああ…すごい…若い男の…若いチンポッ
ビクンビクンって震えてるし
先っちょからとくとくとくって我慢汁があ
はッ！何を考えているのよ紗理奈！
こんなモノを見て興奮して…恥を知らなさい！



よおし紗理奈
次は何をするばいいのか…
わかつてるよなあ

男は紗理奈の深く柔らかい谷間から
ずるりと肉竿を抜き取ると
仁王立ちで堂々と立ち上がった



いいねえ〜
そうやって跪くポーズで
上目遣いで見られると
俺つてば興奮しちゃうなあ〜

ふ、ふざけたことを言わないで！
さつさと終わらせるから
あなたは黙っていなさい…ッ！

ムチッ
ムチッ

ムチッ
ムチッ



あ、相変わらず凄まじいサイズね…
こんなのつてもう馬並みじゃない
だ、だめよ！ 理性を保ちなさい紗理奈！
私はこんな男のいいなりになる女じゃないわ！

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ





わが
まま

ふ
ざ
け

ふ
ざ
け

ん
ざ
ん

ん
ざ
ん

うおおおッ！
すっげえバキュームじゃねえかよ！
口では嫌がってても
すっかつりチンポの虜じゃねえかよ！

いやあッ いやなのに
何なのよこのチンポは
しゃぶってるだけで
メスの本能がぐらぐらと
煮えてきちゃうわあ



たつぷり精液飲ませてやるからな！
しっかりとそのエロい口で
味わうんだぞ……くううッ！

んふうふう
す、すっごい♡オスの匂いで
お口の中が満たされちゃうふう
の♡

ゲ

ゴ

オ

ぐんぐん
かっかっ!!

んぎん
びんびん!!

あはあは
あはあは!!



ハ
ハア
アア
ハア
ハア

ハ
ハア
アア
ハア
ハア

ハ
ハア
アア
ハア
ハア

ハ
ハア
アア
ハア
ハア

ハ
ハア
アア
ハア
ハア

ハ
ハア
アア
ハア
ハア

オラッ！紗理奈ッ！
お前何顔隠してるんだよ！

もう本性バレてんだから
さつさとスケベ顔見せやがれ！
歯食いしばって喘ぎ声も我慢するとか
変態女には似合わないんじゃないのか？

忘れたとは言わせねえぞ？
駅前で俺を逆ナンしてきたのは

「お前」

なんだからなあ！

ハアアア
アアア

クワッ
クワッ

ブルブル

ブルブル

ズッ

ズッ



いい感じ

おおッ！ いいぞ紗理奈ッ！
それでいいんだよ！
俺にもっと淫乱なブス面見せてみる！



ブルブル
ブルブル
ブルブル
ハ
ハ
ハ

あ、あなたあ……ごめんなさいッ
私の気の迷いだったのよ……
こんな野蛮な男と行きずりの
関係を持ってしまっ何て……
だけど……だけど……

ハ
ハ
ハ



あざし
たし

あざし
たし

おおくおおく
何だかんだ最初は抵抗してたけどよお
すつかりいつも通りの蕩け顔じゃねえか
最初っから素直に…
いや、こっちの方がおもしろいっちゃあ
おもしろいんだけどなあ…うひひ

パ
ン
ン

パ
ン
ン

…あん？

紗理奈のスマホかこの番号は確か…へへッ
こいつはおもしろいことを思いついたぜ

男は紗理奈のカラータイツに
彼女のスマートフォンを射し込むと
通話を開始する為に画面をタップした

パ
ン
パ
ン
パ
ン



〇〇さん

×××-××××-××××

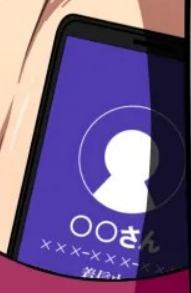
着信中

おいおい紗理奈あ？
お前の大切な旦那様が
心配そうにしてるじゃないか？
返事くらいしてやったらどうだよ？

旦那様
ごめん
ごめん
ごめん

お前
の旦那様
が心配
そう
して
る
ん
じ
ゃ
な
い
か

俺としてはよお…何してるのか
教えてやつてもいいんだけどよお



うまく声が拾えてないみたいだな…
とりあえずメッセーじだけ残しておこう
まあ紗理奈なら大丈夫だろう
夫婦だからって過干渉はよくないよな

あなた…あなた…あなたあッ

だ
成
人

飛天
飛天



オラツ！ 旦那への謝罪は済んだかよ！
四十路過ぎてるいい年して
旦那の声聞いてマンコきゅんきゅん
させてんじゃねえよ！
マンコは正直だから隠しても
バレバレなんだよアバズレが！

旦那のこと
思い出しながらイケツ！
たつふりと生マンコに射精して
ザーメンで淫乱マンコ穴を
埋め立ててやるよ！

ズ
ズ
ズ





アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッ!!



紗理奈の意識は段々と薄れていく…
最後に残された記憶は男のにやけた表情だった

紗理奈の意識は段々と薄れていく…

ダ
ダ
ダ

ダ
ダ
ダ

—あの夜から
しばらく時間が経ったある日のこと



あなた 
いつてらうしやい 

ああ…
いつてきます



紗理奈

以前に比べて随分穏やかになったな
いや前も真面目なのは表向きだけで
根は優しい女性だったけど…うん
きつと子どもが出来たのが理由だろう

もうすぐ僕も父親になるんだ！
頑張つて今日も働こう！



おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん

おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん

おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん
おねえさん



ねえん♡お願いよお♡
もう全然可愛がつてくれないじゃない
前みたいにな♡每晚いっばいおまんこしてえ

おいおいそんな
『めんどくせえ腹』
の女抱けねえつての！
(まったく調教し過ぎたか?)





ハアアア
ハアアア
ハアアア

ハアアア
ハアアア
ハアアア

ハアアア
ハアアア
ハアアア

バクバク
バクバク
バクバク

ホテッ
ホテッ
ホテッ

ハアアア
ハアアア
ハアアア

紗理奈に宿ったもう一つの命
それは夫婦の愛の証ではなかった…

あなたにお聞きします…
あなたの子どもは本当に
あなたの子どもですか？



FIN?































































〇〇さん
×××-×××-×××
着信中

〇〇さん
×××-×××-
第12...

































